

令和元年 8月 5日

「ICT を活用した単身高齢者あんしん見守り」実証事業について

福岡市と福岡安全センター株式会社（福岡市中央区天神）は、人生100年時代を見据えた持続可能な健寿社会をつくるプロジェクト『福岡100』の新たな取組みとして、「ICT を活用した単身高齢者あんしん見守り」実証事業を実施します。

本実証事業では、単身高齢者の在宅生活の不安感と地域の見守りの負担感の軽減につながるよう、福岡安全センター株式会社が、自宅に温度・湿度・照度などを感知する多機能センサーを通して常時見守るとともに、異変を察知した際には電話や駆けつけによる確認を実施し、見守りから安否確認までを一体的に行います。

見守りのサービスは多様な形で提供されていますが、本実証の結果を広く発信し、市民や事業者へ ICT を活用した見守りの普及を促進することを通して、今後さらに増加が見込まれる単身高齢者が、住み慣れた地域で安心して在宅生活を続けられる環境づくりにつなげてまいります。

報道関係者の皆様へ取組みの内容をご覧いただける場を設けさせていただきますので、取材いただきますようお願いいたします。

実証事業の内容

1. 実証事業について

(1) 実施体制について

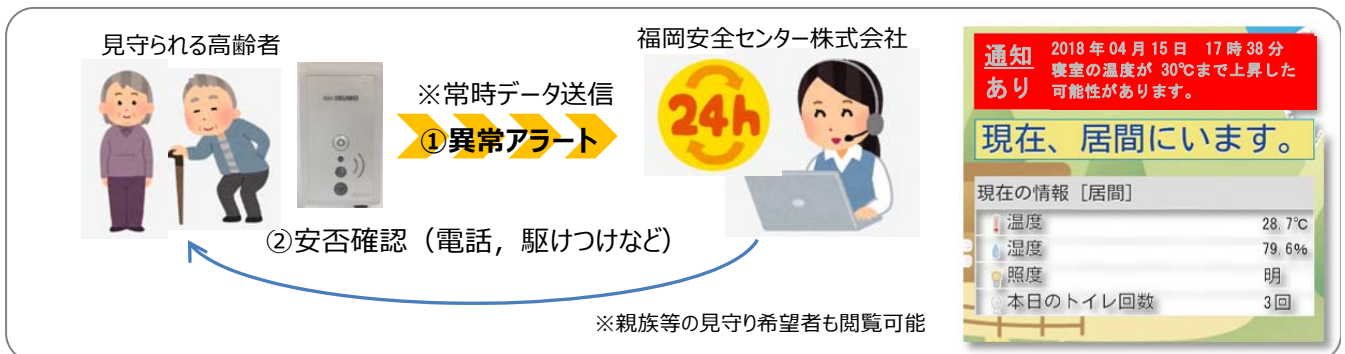
福岡安全センター株式会社（福岡市中央区）と、福岡市保健福祉局の共同実施

(2) 主な役割分担

福岡安全センター株式会社	福岡市
<ul style="list-style-type: none"> ・機器の設置 ・見守りの実施・運用 ・実施前後のアンケート調査 ・実績報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者の調整 ・広報

(3) 実施内容について

- ① 温度・湿度・照度・人の動きを感知するセンサーを、対象者の自宅に設置。
- ② 安全センターに、常時センサーのデータを送信し、温度・湿度・照度等が予め設定した値を逸脱すると、アラート（警報）が出される。
- ③ アラートを感知した安全センターが、電話連絡や訪問により安否確認を行う。
- ④ 実施後に対象者等にアンケート調査を行う。
(不安が軽減されたか、継続利用したいと思うか等)



(4) 実施期間

8月から約1年間を予定

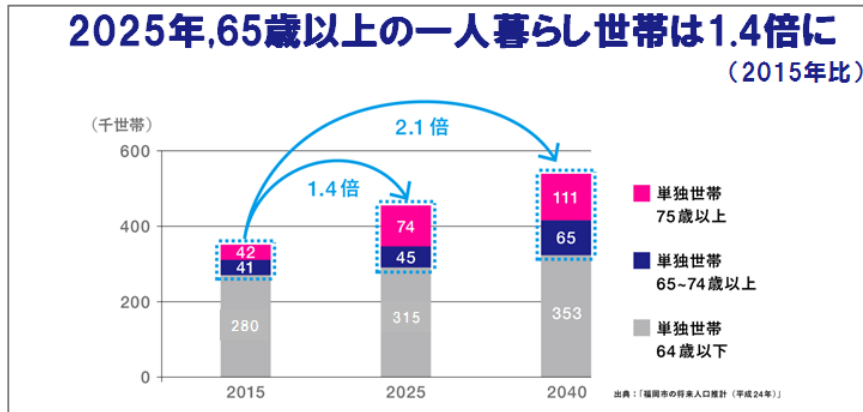
(5) 対象者

市内居住の単身高齢者（合計約20世帯を予定）

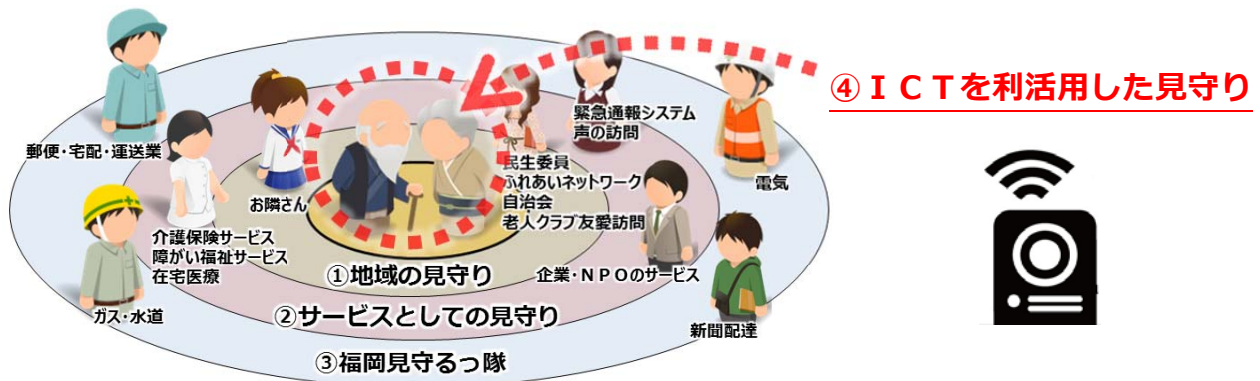
※一般公募は行わず、シルバー人材センターや地域包括支援センター等を通じて対象者を選定する予定。

2. 背景

福岡市の推計では2015年に83,000世帯であった単身高齢者世帯が、2025年には119,000世帯となり、その後もさらに増加していく見込みです。



福岡市では、単身高齢者が住み慣れた地域で安心して在宅生活を続けられるよう、地域の見守りを中心に、介護保険などのサービスとしての見守りやライフライン事業者等による「福岡見守るっ隊」など、重層的な見守りを構築していますが、単身高齢者が増加を続ける中で見守りを担う地域の負担も増大しており、ICTを活用した見守りの普及などが必要となっています。



取材のご案内

- (1) 場所：南区横手南町
- (2) 時間：8月5日（月）13時～14時頃
- (3) 内容：機器設置の様子、対象者、及び機器開発者等へのインタビュー

※上記のとおり取材可能ですが、取材詳細の場所は担当者までお問い合わせください。

福岡安全センターについて

(商号) 福岡安全センター株式会社
(本社) 福岡県福岡市中央区天神3丁目11-1 天神武藤ビル5F
(代表) 代表取締役社長 内山 守太

平成6年設立。自治体と連携した緊急通報サービス、声の訪問、にこにこステップ運動教室や、24時間健康相談サービスなど、一人暮らしの高齢者を見守り、日々の生活を応援する福祉サービスを提供している。

本資料に関するお問い合わせ先

福岡市保健福祉局健康先進都市推進担当 担当 木本・中園
TEL:092-711-4543（内線 2056）